

しなののうた

ごろごろと真夜に轟く雷鳴に不安の募る大雪警報



杉田小百合

しなののうた

一夜にて膝上までの新雪に今朝の景色は墨絵のごとし

杉田小百合



しなののうた

雪道の硬き雪割るつるはしの音高くして塊の飛ぶ



杉田小百合

しなののうた

新雪を踏み分けてゆく足跡は不揃いなりて老いの兆しよ

杉田小百合



しなののうた

軒先のつらら輝き七色の光を放つ凍み入る朝に



杉田小百合